36 極楽寺山

原生林に包まれた霊山。広島湾を一望

山岳の特徴——

ごくらくじやま
693m

付近の観光——

極楽寺山山頂展望台から広島湾の多島美を一望する

極楽寺山は、広島市と廿日市市との境にそびえる、展望に恵まれた山である。山頂には毛利元就が再興した高野山真言宗別格本山の極楽寺があり、古くから霊山として登られていた。登山コースはいろいろあるが、昔の面影を残す表参道の平良コースを案内しよう。

JR山陽本線廿日市駅を下車して右手の道を進む。山陽本線の踏切を渡り、コンビニエンスストアの角を左へ。平良保育所西の信号を右へ行くと、西広島バイパス道、平良第3号トンネルに出る。高架下をくぐり、200m直進すると、極楽寺山**平良登山口**がある。雑木林の山道に入り、尾根筋を行く。何丁と書かれた石標が山頂まで続き、道案内してくれる。

↑広島はつかいち大橋から極楽寺山を望む

→蛇ノ池畔の紅葉

やがて山陽自動車道が現れ、**極楽寺橋**を渡ると、左手に展望地がある。瀬戸の海が広がり、安芸小富士、江田島、宮島とすばらしい眺めだ。緩やかな道も20丁をすぎると登り坂になり、石段が現れると、祠のある26丁に着く。さらに8分登ると、四等三角点の518.6mに着く。30丁をすぎると、**原コースの分岐**に出る。うっそうとした原生林の参道となり、モミやアカガシ、杉、松などの巨木が空を覆い、ひんやり静寂さがただよう。35丁をすぎると、五日市三宅コース分岐の仁王門に着く。石段を上がっていくと、5分で極楽寺本堂、阿弥陀堂のある**極楽寺山**山頂に着く。展望台からは、宮島や広島湾の多島美が一望できる。

下山路は仁王門に戻り、中国自然歩道の五日市三宅コースを下ろう。木段と鉄バシゴ33段の階段を通り、反射板のあずまやから急坂を下っていくと、沢へ下るハシゴがある。沢を渡り、谷沿いを下ると、高速道にかかる**貴船原横断橋**に出る。ゴルフ場横を下っていくと、西広島バイパス道、屋代トンネル上に出て、**広島工大上バス停**に着く。（瀬尾幸雄）

チェックポイント

❶極楽寺山平良登山口

❷祠のある26丁

❸五日市三宅コース分岐の仁王門

❹極楽寺山頂の本堂

登山適期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

■登山シーズン

春はサクラ（4月下旬）。初夏から（6～8月）蛇ノ池のスイレン、キャンプ。秋（11月中旬～下旬）は紅葉が楽しめる。瀬戸内海に面し、冬も暖かい。初日の出に登る人も多い。

■ワンポイント・アドバイス

＊最高点の標高693mは、極楽寺裏の奥ノ院の上、遊歩道あずまや地点だが、三角点はない。

＊山頂一帯は憩いの森になっており、蛇ノ池やキャンプ場、さくらの里へと遊歩道があり、散策するとよい。極楽寺から蛇ノ池まで15分。

＊宿泊温泉施設アルカディア・ビレッジは、北山麓、後畑地区にあり日帰り入浴できる。下山コースを蛇ノ池からさくらの里へ向かい（15分）1km下ったところ（20分）にある。施設利用者には、JR廿日市駅まで無料バスが運行されている。

＊極楽寺の縁日（春の大祭）は4月第3日曜。多くの参拝者でにぎわう。

■問い合せ

廿日市市役所☎0829-20-0001、廿日市市観光協会☎0829-31-5656、アルカディア・ビレッジ☎0829-38-2221、広島電鉄バス広島南営業課☎082-221-4385

■2万5000図

廿日市

コースの難易度

体力度	危険度

日帰り

歩行時間：3時間30分
歩行距離：8.5km
累積標高差：+690m −644m